

〈ご参考〉 サントリーグループの東日本大震災復興支援
「サントリー東北サンさんプロジェクト」について

当社は、震災直後に救援物資および義捐金（3億円）を拠出したほか、被災地の早期復興・再生のために支援金の追加拠出を2014年まで毎年決定し、総額108億円の規模で「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）支援」「文化・スポーツを通じた支援」を活動の柱に継続して復興支援に取り組んでいます。

■「漁業の復興支援」

岩手・宮城県の漁業支援として、漁船（共同利用船）取得のための漁業者の負担を軽減すべくこれまでに計55億円を拠出しました。小型漁船、大型遠洋マグロ漁船などの取得費用の一部や沿岸漁業の支援にお役立ていただいています。

■「未来を担う子どもたちの支援」

未来の漁業の担い手となる水産高校（青森・岩手・宮城・福島県）7校の被災生徒を対象に「サントリー・SCJ水産業復興奨学金」を実施し、これまでにのべ2,453名に支給しました。宮城県石巻市では、子どもたちのアイデアに基づき設計された「石巻市子どもセンター」の建設支援を行い、2013年末に竣工しました。また、福島県の子どもたちを多面的に支援するため、「サントリー・SCJ フクシマ ススム プロジェクト」を設立し、子ども支援NPOへの助成や学童保育などの教育支援、子どもたちが安心して学び遊べる場所づくりを行っています。さらに、米国大使館・米日カウンシル-ジャパンと協働で「TOMODACHI サントリー音楽奨学金」を創設、米国の音楽大学に入学する被災地の学生を優先して支援しています。これまでに東北出身者2名を含む計6名の学生に決定しました。
※SCJ：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

■「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）支援」

チャレンジド・スポーツの振興や世界レベルの選手の育成・強化を支援するために「チャレンジド・アスリート奨励金」を実施し、これまでに個人部門のべ99名、団体部門のべ40団体に総額約7,100万円を支給しました。また、チャレンジド・アスリートなどによる被災地の学校や競技施設での講演・競技体験会を行うとともに、東北3県（岩手・宮城・福島県）の要望を踏まえた施設改修・競技用具寄贈などの基盤強化・環境整備を実施しています。

■「文化・スポーツを通じた支援」

音楽の分野では、「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金」を設立し、音楽活動への助成や被災地でのコンサート開催などを展開しています。美術の分野では、宮城県仙台市と福島県郡山市でサントリー美術館の所蔵品を展示した日本美術の展覧会を開催したほか、重要無形文化財保持者【人間国宝】をはじめとした伝統工芸作家による出張授業を被災地で実施しました。スポーツの分野では、当社バレーボール部・ラグビー部が被災地の子どもたちを対象にスポーツ教室を開催しています。